



2022年5月12日

各 位

会社名 日本金属株式会社  
 代表者名 取締役社長 下川 康志  
 (コード: 5491 東証プライム)  
 問合せ先 常務執行役員財務部長 丸山 尚之  
 (TEL 03-5765-8105)

## 2022年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年1月31日に公表しました業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期 通期連結業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,000	800	800	2,000	298.76
実績値(B)	49,117	1,437	1,337	2,517	376.10
増減額(B-A)	117	637	537	517	
増減率(%)	0.2	79.7	67.2	25.9	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	40,106	△2,386	△2,454	△277	△41.41

## 2. 2022年3月期 通期個別業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,500	△100	△100	1,500	224.07
実績値(B)	39,838	329	338	1,788	267.09
増減額(B-A)	338	429	438	288	
増減率(%)	0.9	—	—	19.2	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	32,415	△2,970	△2,969	△631	△94.27

## 3. 差異の理由

売上高は、当第4四半期会計期間において、新型コロナウイルス変異株による感染再拡大、ロシアのウクライナ侵攻、中国のロックダウン(都市封鎖)政策等の影響を受け、自動車生産台数が減少するなど販売数量は減少しましたが、原材料等の価格高騰に伴う販売価格への適時是正により、金額はほぼ予想通りとなりました。

損益は、当第4四半期会計期間において、生産減により当社板橋工場の第三圧延工場火災事故に伴う代替生産工程でのコスト増が抑えられ、また原材料等の価格が予想以上に高騰したものの、その影響が生産コストに反映されるタイミングに対して販売価格の是正が先行して計上されることで、「価格差」による利益が大幅に増加したことが主因であります。

以上